



ポ プ ラ

学校教育目標「志に生きる」やる気 おもいやり たくましさ
生徒数 545名

健全な成長は「基本的な生活習慣の確立」から

校長 結城 正弘

3年生は、6月16日（金）から18日（日）にかけての2泊3日の修学旅行を終えて、京都・奈良から無事戻ってきました。いろいろな体験を通して、一回り大きくなったように感じる3年生。これからも最上級生として、久喜中学校をリードして行ってください。

さて最近、登校の様子が大変素晴らしいと思います。登校指導を7時45分頃から8時10分頃まで行っていますが、ほとんどの生徒が目を見て、大きな声で元気よく「おはようございます！」と挨拶をしてくれます。とても嬉しいことです。

また、昼休みに廊下では生徒達が、友達同士で楽しそうに過ごしていますが、校舎内を巡回すると、多くの生徒が「こんにちは！」と声をかけてくれます。このように挨拶の良くてできる学校は少ないのではないかと思います。

挨拶をしっかりできる生徒、遅刻をしないで登校できる生徒は、基本的な生活習慣が身に付いています。基本的な生活習慣の確立は、健全な成長にとって大切なことだと言えます。基本的な生活習慣の乱れが原因で、学業不振に陥ったり、学校の様々な活動に意欲を失ったり、友だちや親子との人間関係が崩れるなど、学校生活や家庭生活に大きな影響を与えることはよく知られています。以前、全日本中学校長会が行った基本的な生活習慣の育成に関する調査では、次のような結果でした。

(1) 基本的な生活習慣の確立と学力の間には、相関関係があると思いますか？

・およそ7割が、かなり相関関係があると考え、関係ないという答えはありませんでした。

(2) 基本的な生活習慣が確立していないと、学校生活においてどのようなよくない状況が生まれると思いますか？

・「全般的に無気力になってくる」との答えが6割、「学習の決まりを守れない」が5割と半数以上の学校で、無気力や学習の決まりについて支障があると答えています。また、「あいさつや返事ができない」「遅刻が多くなる」が4割近くとなっています。

(3) 家庭で育てる基本的な生活習慣について、大切であると思われるものは何ですか？

・「規則正しい食事の習慣」が8割近くと突出しています。「礼儀作法」「適切な睡眠時間」「家族との団らんや手伝いの習慣」「きちんとした服装・頭髮の習慣」は4割程度で、「食事の習慣」への期待が最も大きいことがわかります。

健全な成長は、「基本的な生活習慣の確立」からと言われますが、基本的な生活習慣が確立されれば、何事にも意欲が湧き、目標がもて生き生きとした日々を送ることができるのではないのでしょうか。